



朝のラジオ体操

横浜市立東小学校
校長 保科桂子

「熱中症アラート」の注意情報が連日続いたり、大雨の被害が長く続く地域があったり、新型コロナウイルス感染症の心配も欠かせなかったりと、楽しかっただけの夏休みとはいえなかったかもしれません。元気な子どもたちの姿に、とてもうれしい気持ちになる夏休み明けでした。

この夏休みに、管理職と児童支援専任中心に教職員有志で、いくつかの町内会で行われているラジオ体操に参加させていただきました。

私も子どものころには、近所のお友達を誘いながら町内のラジオ体操に参加してきました。夏休みの始まりの7月と、終わりの8月末に実施されていました。今のお子さんと同じように、カードにスタンプを押してもらうのがうれしかった覚えがあります。また、我が子が小学生の時に町内会の子ども会の役員をした際には、ラジオ体操を実施してから出勤する夏休みのはじめでした。

今年ラジオ体操に参加していて、東小の地域では保護者等大人の参加率が高いと思いました。久しぶりに卒業生の顔も見られてうれしくなりました。また、朝早くなのに、マスク着用率が高いのにも感心しました（屋外で距離がとれていて、会話をしなければ、マスクはしなくても大丈夫だとは思いますが）。きちんとお子さんたちが体操できているのもうれしかったです。運動会での全校での体操が楽しみです。毎日の、賞品（ごほうび）を笑顔で、率先してもらっているお子さんたちもほほえましく感じました。

こうやって地域の方に支えられながら、東の子どもたちは育てているのだなと実感しました。3年ぶりにラジオ体操を実施した地域もあったことでしょう。感染症対策を行いながら、子どもたちのためにと実施していただいていることと思います。大切な夏休みの思い出になりますね。朝早くからありがとうございました。

